



庁舎の変遷～1983年～

1983年には、「菊川町役場」として新庁舎が完成。鉄筋コンクリート造りの建物に、レンガ調タイルが貼り付けられ、重厚で美しい姿に生まれ変わりました。菊川市が誕生した以降も引き続き使用され、延べ42年間、町民・市民に親しまれてきました。

History 2

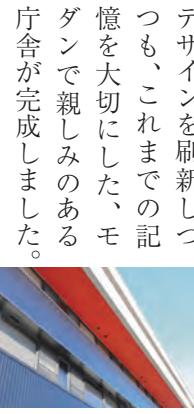
● 親しみのある庁舎デザインを未来へ

～デザインコンセプト～

未来へつなぐデザインに

安全・安心を
サステイナブルに

つよくしなやかな建築物



このコンセプトのもと、周辺の公共施設や今後整備する災害対策本部棟、新堀之内体育館などと調和するデザインを設計士に依頼しました。設計士から提案された9つのデザイン案を基に市職員や市民を対象にアンケートを実施。その結果、最もふさわしいデザインとしてグレーを基調とした案を採用しました。また、長年親しまれてきたレンガの面影を残すため、軒天井にはレンガを想起させる赤茶色のボードを使用しています。モダンとレガシー(伝統)が融合し、生まれ変わった本庁舎が多くの方に親しまれることを望みます。

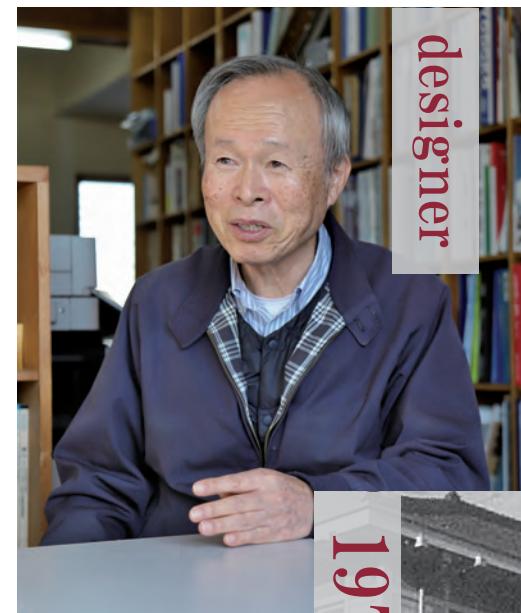
外壁のデザインは、40年にわたり市民の皆さんに親しまれてきた庁舎の印象を大きく変えることから、慎重に検討を重ねました。検討にあたり、静岡文化芸術大学デザイン学部の亀井暁子教授から助言をいただき、その助言を踏まえ、デザインのコンセプトを「つよくしなやか」「安全・安心」「未来へ」と定めました。

● interview ～外壁工事設計者～ 記憶を継ぎ、未来へ繋ぐ設計に

改修工事の設計にあたり、市の担当者からは、メンテナンスフリーで耐久性が高く、市役所に相応しいデザインといいくつかの課題をもらい、頭を悩ませました。様々な工法をあらゆる面から比較し、未来を見据えた最も合理的な工法を提案しました。また私もレンガの面影を惜しむ一人でありましたので、軒天井には、レンガを思い出させる赤茶色のボードを使用しています。モダンとレガシー(伝統)が融合し、生まれ変わった本庁舎が多くの方に親しまれることを望みます。

DAI一級建築士設計事務所 建築士 大橋 隆夫さん

designer



1971

● topic ～災害対策本部棟・堀之内体育館の新築工事スタート～

災害発生時に災害対策本部の機能が確実に発揮できるよう、災害対策本部の整備と老朽化した堀之内体育館の建て替え工事を進めています。現在、本庁舎敷地北側を封鎖しています。車両は、従来のとおり、南側から出入りをお願いします。引き続き、本庁舎をご利用の皆さんにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

詳細は市ホームページ(右記)をご覧ください▶

